要保存

OSAKI タイムスイッチ

TYE3-1D・1DK 取扱説明書

このたびは、**大崎電子式タイムスイッチ〔TYE3-1D・TYE3-1DK〕**をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本装置を正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後は、必ず保管していただきますよう、お願い申し上げます。

取付、結線など施工については必ず「施工説明書」にしたがってください。

安全上のご注意

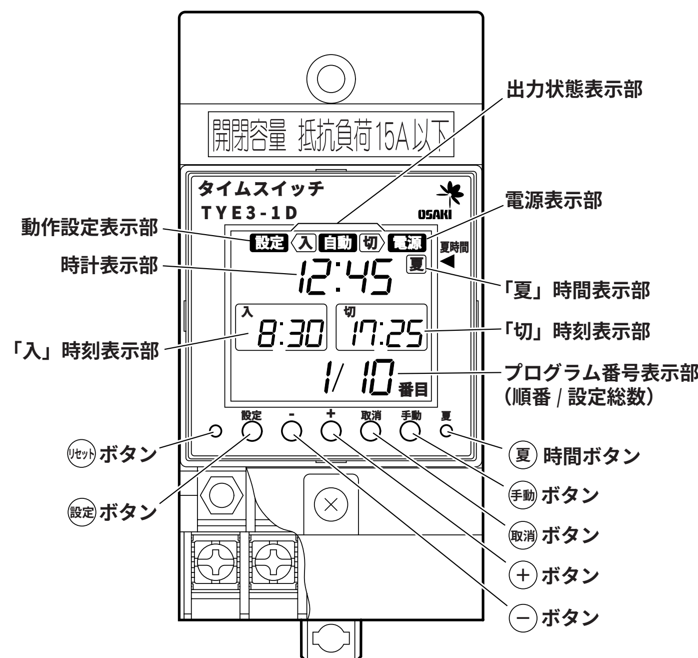
危　険

- 次のような場所では使用しないでください。
  - タイムスイッチの不具合が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与えることが予測される医療機器や大規模設備等。
  - 周囲温度が－10℃～＋50℃の範囲を超える所。
  - 周囲湿度が85%を超える所や、85%以下でも結露する所。
  - 水、油、油煙がかかったり、直射日光（紫外線）が当たる所。
  - ノイズや、サージを発生する機械や、振動、衝撃のある所。
  - 強電界、磁電界の発生する所。
  - 埃（特に鉄粉やカーボンなどの導電性の粉塵）や、アンモニア、亜硫酸ガスなど腐食性ガスの多い所。
- タイムスイッチの不具合が原因で財産に影響を与えることが予測される機器（ヒーター、冷凍・冷蔵庫など）に使用する場合は、必ず二重回路などの安全対策を施してください。
- 設定などで保護装置（ブレーカなど）を「入」にする場合は、特に負荷側の安全を確認して感電などの事故防止をしてください。
- 導電物（金属棒、クリップ、シャープペンの芯など）の先で (リセット) ボタンおよび、(夏) 時間ボタンを押さないでください。感電、火災などの事故や、故障の原因となります。
- リチウム電池を内蔵していますので、加圧、加熱、または火中投入しないでください。発火、破裂の恐れがあります。

注　意

- 本装置の分解、改造等はしないでください。感電、火災などの事故や本体の故障の原因となります。
- 本装置の保守・点検は、電気工事の有資格者が定期的に（最低年1回程度）行ってください。端子の締め付けが緩んでいると、火災などの事故の原因となります。
- 本装置に異常が起きた時には、電源側の保護装置（ブレーカなど）を切り、電気工事士の有資格者に連絡してください。そのまま使用すると、火災や負荷機器への悪影響の原因となります。
- 本装置を廃棄する場合は、産業廃棄物として処分してください。
  特にリチウム電池は分別し、処分してください。

各部の名称



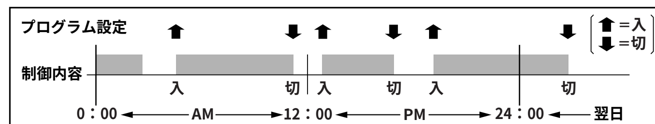
※表示部の表示は説明用の例です

概　要（本装置の特長）

プログラム設定

- 無通電状態で設定可能です。
  電源を接続する前でも設定ができます。
- (設定) ボタンと (＋)・(－) ボタンを押して、「入」「切」時刻の設定をします。
- 「入」時刻と「切」時刻の組合せで、一日最大10動作（10組）の設定ができます。
- 当日から翌日に渡る「日渡り制御」時刻の設定ができます。

例＝3動作設定



プログラム表示

- 通常運転状態では現在〈入 になっている動作または次に〈入 になる動作の「入」時刻、「切」時刻を表示します。

手動制御

- 設定時刻以外にも (手動) ボタンで「入」「切」することができます。

設定時の制御と自動復帰

- 設定された制御は、通常運転状態に戻った時点から行われます。
- 各設定のボタン入力を3分以上行わなかった場合、自動的に通常運転状態に戻ります。

夏時間（サマータイム制）の設定

- (夏) 時間ボタンを押すと、現在時刻が1時間進みます。

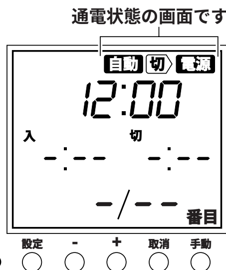
設定方法

現在時刻の合わせかた

(例＝現在時刻を［13：00］に設定)

＊ 設定 ボタンを押さないで設定できます。
時刻は工場出荷時に設定されていますが、リセット操作は（1）から、合せ直しは（2）から行います。

(1) リセット ボタンをペン先などで押して初期画面にします。
時計表示部に［12：00］と表示されます。



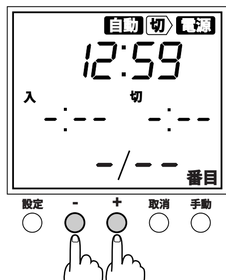
⚠ 注意

リセット ボタンで押すと初期設定状態に戻り設定されているプログラムはすべて消えます。

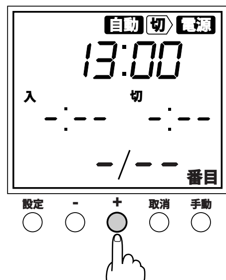


(2) ＋ または － ボタンを押して、時刻表示を［12：59］に合わせます。
＋ または － ボタンを2秒以上押し続けると、早送り動作になります。

＊ ＋ または － ボタンはひと押しで1分単位に変化します。



(3) 電話（NTT 117）、テレビ、ラジオの表示時報、その他正確な時計の13：00に合わせて ＋ ボタンを押して離すと0秒スタートします。



動作時刻の設定

右表のプログラム設定例に従って、これから3動作の設定を行います。

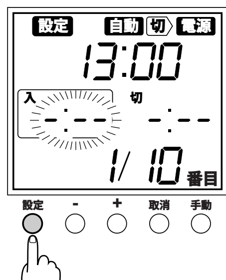
プログラム設定例

動作	「入」時刻	「切」時刻
1	8：30	10：25
2	11：30	14：10
3	21：30	0：50

「入」時刻の設定

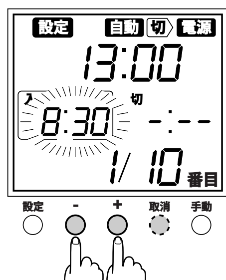
(例＝「入」時刻を［08：30］に設定)

(1) 設定 ボタンを押すと「入」時刻表示部が枠で囲まれ、［ー：ーー］が点滅します。
プログラム番号は［1/10］と表示されます。



(2) ＋ または － ボタンを押して、「入」時刻を［8：30］に設定します。
［8：30］が点滅します。

＊時刻表示を消去する場合は、取消 ボタンを押します。
画面が［ー：ーー］の点滅に戻ります。



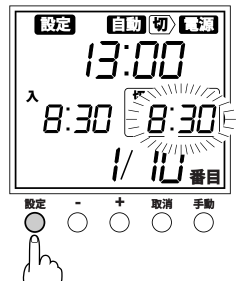
⚠ 注意

(1) 3分以上ボタン入力がない場合、自動的に通常運転状態に戻ります。
(2) 同一時刻の設定はできません。
一度、消去してから再度設定するか、入力時刻を修正してください。
（詳細は、この章の最後にある注意表を参照してください）

「切」時刻の設定

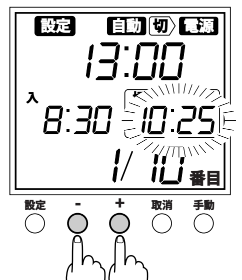
(例＝「切」時刻を［10：25］に設定)

(1) 設定 ボタンを押すと、「切」時刻表示部が枠で囲まれ、［8：30］が点滅します。



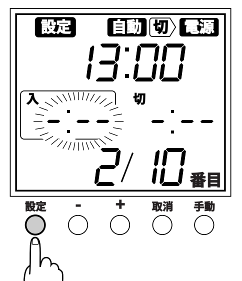
(2) ＋ または － ボタンを押して、「切」時刻を［10：25］に設定します。
［10：25］が点滅します。

＊この時点で設定を終了する場合は、設定 ボタンを2回押します。
画面が通常運転状態に戻ります。



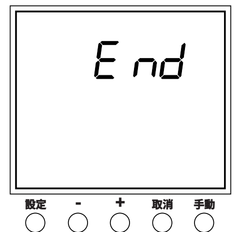
(3) 設定 ボタンを1回押して「入」「切」時刻の設定が完了すると、「入」時刻表示部が枠で囲まれて［ー：ーー］が点滅し、プログラム番号が［2/10］と表示され、次の2動作目の入力画面になります。

＊「入」「切」時刻の組合せで1動作です。



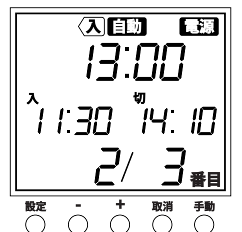
(4) 以後、「入」「切」時刻設定を繰り返して3動作まで入力した後、設定 ボタンを2回押すと時計表示部に［End］が表示され、設定終了をお知らせします。

＊一日最大10動作の設定ができます。



(5) 2秒後に通常運転状態の画面に戻ります。

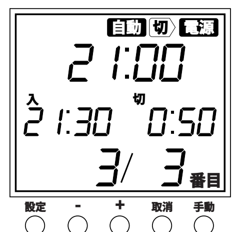
＊右画面は現在時刻［13：00］、「自動」運転で「入」時刻［11：30］～「切」時刻［14：10］の運転中です。
（3動作設定中の2動作目を表示しています）



「日渡り制御」時刻の設定

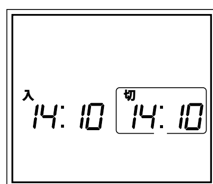
プログラム設定例の3動作目が「日渡り制御」時刻です。

＊右画面は現在時刻［21：00］、「自動」運転で2番目の動作が終了した状態です。
次の動作として「入」時刻［21：30］～「切」時刻［0：50］プログラムが3動作目に設定されていて、当日から翌日にかけての制御例を示しています。



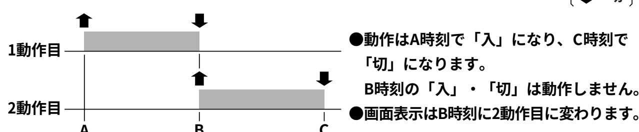
⚠注意

（1）**「入」「切」時刻の組合わせで 1 動作です。**
1 動作の中で「入」「切」時刻が同一の設定入力はできません。



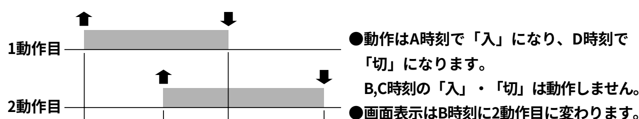
（2）次のように動作時刻設定が重複している場合、一部、設定時刻に動作しません。

例 1：1動作目「切」時刻と2動作目の「入」時刻が重複している場合。（⬆=入 ⬇=切）



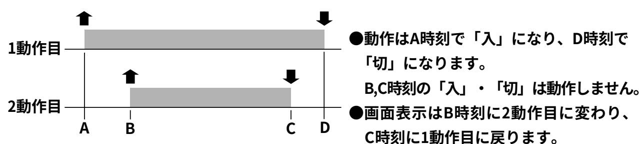
●動作はA時刻で「入」になり、C時刻で「切」になります。
B時刻の「入」・「切」は動作しません。
●画面表示はB時刻に2動作目に変わります。

例 2：1動作目「切」時刻の前に2動作目の「入」時刻があり重複している場合。



●動作はA時刻で「入」になり、D時刻で「切」になります。
B,C時刻の「入」・「切」は動作しません。
●画面表示はB時刻に2動作目に変わります。

例 3：1動作目「切」時刻の前に2動作目の「入」・「切」時刻があり重複している場合。



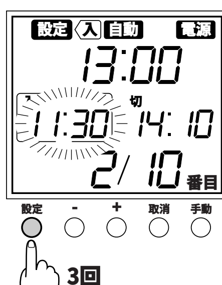
●動作はA時刻で「入」になり、D時刻で「切」になります。
B,C時刻の「入」・「切」は動作しません。
●画面表示はB時刻に2動作目に変わり、C時刻に1動作目に戻ります。

設定した動作プログラムの取消し

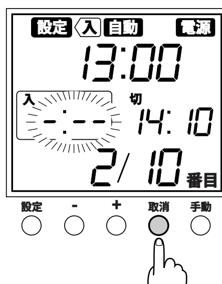
（例＝2 動作目の「入」時刻［11：30］〜「切」時刻［14：10］の取消し）

（1）（設定）ボタンを何回か（この場合 3 回）押して、取消したい動作（「入」時刻［11：30］が点滅）を表示させます。

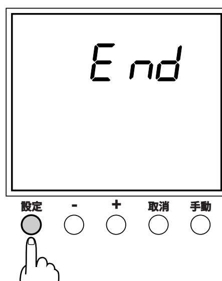
＊「切」時刻［14：10］を点滅させても取消し可能です。



（2）（取消）ボタンを押して、「入」時刻を［ー：ーー］の点滅にします。



（3）（設定）ボタンを何回か押して［End］画面にします。（設定動作数によって押す回数が変わります）
2 秒後に通常運転状態に戻ります。



⚠注意

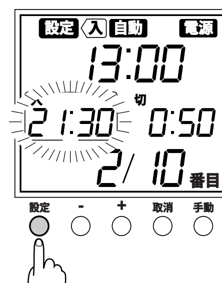
入力されている 3 動作目以降のプログラム番号が繰り上ります。

設定した動作プログラムの変更

（例＝2 動作目の「入」時刻［21：30］を「入」時刻［22：50］に変更）

（1）（設定）ボタンを何回か押して変更したい動作を表示させます。（設定動作数によって押す回数が変わります）
変更したい動作（「入」時刻［21：30］が点滅）を表示させます。

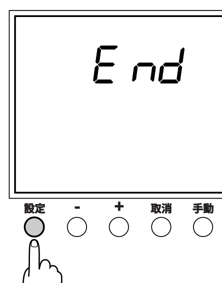
＊「切」時刻を変更する場合も同様です。



（2）「入」時刻［21：30］が点滅の状態で（＋）ボタンを押して、時刻を［22：50］に設定します。

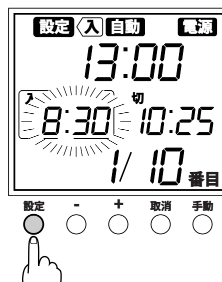


（3）（設定）ボタンを何回か押して［End］画面にします。（設定動作数によって押す回数が変わります）
2 秒後に通常運転状態に戻ります。



設定した動作プログラムの確認（1）

通常運転状態の画面で、（設定）ボタンを押すごとに、1 動作目の「入」時刻から順番に点滅して設定時刻を表示します。確認する場合にご利用ください。



設定した動作プログラムの確認（2）〔通電中のみ可能です〕

（設定）ボタンを押さずに（＋）ボタンを押し続けると、現在時刻が早送りされます。
設定した動作時刻に近づいたら（＋）ボタンをひと押しずつしていくと「カチッ」と音がして「入」・「切」の確認ができます。



⚠注意

（1）実際に出力されますので、接続負荷に十分注意してください。
（2）この操作をした場合は、必ず現在時刻の設定をし直してください。

手動操作

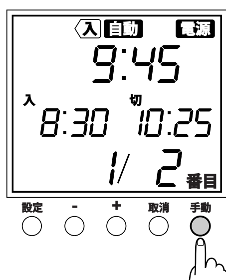
通常運転状態中、一時手動で「入」・「切」をする場合の操作

＊設定されたプログラムに関係なく「入」・「切」動作します。

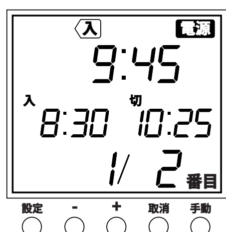
（例＝現在時刻［9：45］に「切」にする場合）

（1）「自動」運転状態になっている場合は、(手動) ボタンを押して「手動」運転に切換えます。

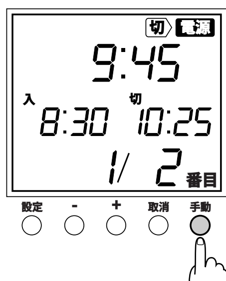
＊ (手動) ボタンを押すと表示画面上部の 自動 表示が消えます。



（2）画面は右のように現在、プログラム番号1の動作中に「手動」運転で「入」状態に変わっています。

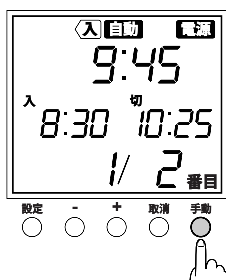


（3）(手動) ボタンをもう一度押すと、表示画面上部の〈入 が 切〉表示に変わり、現在時刻の［9：45］に「切」状態になります。



> **⚠ 注意**
>
> この「手動」操作状態のままだと、「自動」運転の「入」「切」設定時刻になっても動作しません。

（4）「手動」運転を解除する場合は、(手動) ボタンをもう一度押して、「自動」運転状態に戻します。

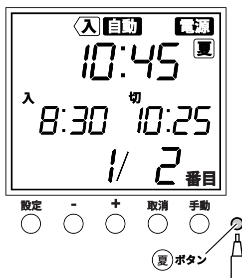


> **⚠ 注意**
>
> 「手動」運転を設定した場合は、必ず (手動) ボタンを押して、「自動」運転状態に戻してください。
>
> (手動) ボタンを押すごとに表示が〈入 ⇒ 切〉 ⇒ 自動 と切り変わります。

夏時間（サマータイム制）の設定

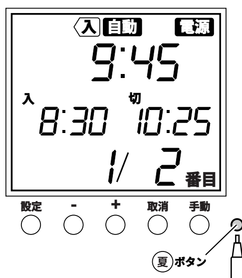
＊サマータイム制とは夏季に対象地区の時計を一斉に1時間進める制度です。

（1）通常運転状態で (夏) ボタンをペン先などで押すと、表示画面の右側に 夏 と表示され、現在時刻が1時間進みます。
（例＝現在時刻［9：45］が［10：45］に変わります）



> **⚠ 注意**
>
> プログラム設定時刻は変更されません。

（2）「夏」時間（サマータイム制）解除の場合は、もう一度 (夏) ボタンを押すと表示画面の 夏 表示が消え、現在時刻が1時間遅くなります。
（例＝現在時刻［10：45］が［9：45］に変わります）



停電補償について

○ 停電補償は、内蔵リチウム電池により、停電期間5年間（25℃において）に渡ります。

（1）停電中の動作（無通電の状態）
- ● 電源および出力状態表示は消灯します。
- ● 出力回路は〈切〉の状態になります。
- ● 時計機能は動作しています。
- ● 設定プログラムは保護されています。

（2）復電時の動作
- ● 自動的に、設定されているプログラムに従って動作します。

構成部品

① 本体
② 木ねじ（M4） 2本
③ 添付書類（施工説明書、取扱説明書）

保証期間

納入品の保証期間は、ご指定場所に納入後、1年と致します。

お願い

記事内容は、設計変更その他の理由により、ご連絡申しあげることなく変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
ご不明な点は下記へお問い合わせください。

大崎電気工業株式会社

本　社 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-2-7

システム・機器営業部 営業課		電話（03）3443-7177
		FAX（03）3443-0265
大阪支店	電話（06）6373-2556	FAX（06）6375-0681
札幌営業所	電話（011）251-6622	FAX（011）210-0258
仙台営業所	電話（022）223-3747	FAX（022）223-8159
北関東営業所	電話（048）653-5901	FAX（048）660-3599
広島営業所	電話（082）243-1611	FAX（082）243-9039
沖縄営業所	電話（098）832-7406	FAX（098）836-8655

取扱店

平成15年3月作成　P03031T（SN）2V